

2016年4月25日

会員・賛助会員 各位

協同金融研究会
事務局長 小島 正之

第125回定例研究会の開催のお知らせ

4月14日の熊本の大地震発生から僅か2日後に新たな大地震が発生し、時間が経つにつれて被害の大きさが明らかになっています。依然として続く「余震」の大きさに被災地の人達の心労も察するに余りある状況です。お見舞い申し上げるとともに、一日も早い終息を願わずにはられません。

さて、経済の世界ではマイナス金利が本年1月末に導入されて4カ月が経ちますが、導入理由に挙げた景気浮揚効果は依然として表れていないようです。マイナス金利政策の動向が今後どのような影響をもたらすのか、協同組織金融機関にとってはこれをどう見たらいいのか、地域の経済や生活へどう影響を及ぼすのか、疑問は尽きません。

今回の研究会では、このマイナス金利の問題について鳥畑先生にご教示いただき、協同組織金融機関としての役割や課題について参加者の皆さんと意見交換をし、深めたいと思います。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

★なお研究会終了後、2016年度の総会を開催しますので、併せてご参加をお願いします。

記

- 開催日：2016年**5月20日（金）午後6時30分～8時30分**
定例研究会：6時30分～8時／2016年度総会：8時～8時30分
- テーマ：マイナス金利政策で地域の経済と生活はどうなるのか（仮題）
- 報告者：鳥畑 与一 氏（静岡大学人文社会科学部教授）
- 会場：プラザエフ（主婦会館）5階「会議室」
（JR、地下鉄丸ノ内線・南北線「四ッ谷駅」麴町口下車徒歩約1分）
- 参加費：1人1,000円（学生・院生は500円）
- 申込：下記申込書によりFAXまたはe-mailで、**5月16日（月）まで**に、事務局にお申し込みください。

協同金融研究会 事務局（担当：笹野、小島）

【FAX】03-3262-2260 【e-mail】kinyucoop@mail.goo.ne.jp

第125回定例研究会 参加申込書		2016年	月	日
氏名				
組織名・部署				
メール・アドレス				
他に参加者があれば ご記入ください				